

製造業の旺盛な IT 投資意欲により景気回復をけん引 開発言語を問わず全国でエンジニア不足

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム業界全般について】

2014年3月から2014年7月のシステム開発の案件は、消費税増税による影響が懸念されましたが、引き続き好調に推移しており、開発言語を問わず東京、大阪など全国的に増加傾向にあります。

スマートフォン案件は7月以降も引き続き増加傾向にあり、Objective-C、Javaなどを用いたネイティブアプリケーションの開発案件が目立っています。

新規で基幹業務システムの導入を検討する企業は7月以降も引き続き増加傾向にあります。最近の傾向として景気の影響を受けやすいシステム開発業や広告業などの非製造業だけでなく、景気回復をけん引するとされる製造業においても高いIT投資意欲が見られます。

またサーバを自社管理せずに基幹業務システムを導入したいという要望が増加し、クラウドサービスの利用が進んでいます。基幹業務システムのクラウド化は当初、月額利用料金制度で必要な分だけ利用できるSaaSでの普及が進みましたが、最近では一括買取でERPパッケージを導入する場合においてもクラウドサーバ上に構築したいという要望が多くみられます。これは、サーバのホスティングサービスを含む運用までベンダー企業に任せたいと考える企業が増加していることを意味しています。この要因として、大規模災害の発生時の事業の継続性を確保するBCPの整備を行いたいと考える企業の増加が考えられます。

【エンジニアについて】

2014年3月から2014年7月のエンジニアの需要は増加傾向、特にSE(システムエンジニア)、PG(プログラマー)レベルの需要が高くエンジニアが不足しています。また実務経験が半年以上の初級PGについても採用される機会が増えています。エンジニアの単価については、SE、PGはやや上昇傾向です。

*文中に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

■株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：統合型基幹業務パッケージ(ERP)「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システム受託開発。

URL：<http://www.bbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：岡部、木塚

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7854 / E-MAIL：info@bbreak.co.jp